

くまがや自治連だより

ひろば

第24号

平成 30 年 8 月発行

ホツと
くまがや



©熊谷市

あなたが主役の 防犯パトロール

熊谷市自治会連合会副会長
内 田 功 一

自治会員の皆様、住み良い環境づくりに日夜御尽力頂き、誠にありがとうございます。

昨今は予想もつかない災害の発生、あつてはならない事件、思わぬ事故等危険がいっぱいの世の中になっています。長閑ぼけに浸っている場合ではありません。目配り気配りに努め、緊張感をもった生活が求められています。このような状況下でどのような活動が住み良い環境づくりにつながるのでしょうか。

自宅の周囲に目を光らすといったことは、どなたでも実行していると思いますが、それだけでは足りません。自治会地域内全体に目配り気配りする必要があるのです。最適な活動は防犯パトロールだと思っています。問題意識と緊張感をもった防犯パトロールは、防犯効果はもちろんですが思いがけない発見につながります。さらに、自治会員同士、複数人で行いますので、和気藹々の世間話の中で、誤解や疎外感の解消、情報の収集等を行うことができ、そして一番は健康維持・増進に役立つのです。主役はあなたです。犯罪のない住み良い環境づくりに役立つ防犯パトロールに取り組んでくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

※赤字は地区連合会長

※赤字は地区連合会長

妻沼地区

男 沼	妻 沼	
下小島 上小島 間々田 出来島 妻沼台 男沼	妻沼東五丁目 妻沼東四丁目 妻沼東三丁目 妻沼東二丁目 妻沼中央 妻沼神明町 妻沼南団地 弥藤吾新田 年代 北口 浅見 杉之道王子 弥藤吾中口 弥下 福寿寺 卯月花 妻沼仲町 上町 寺内・寺内新田 横町 聖天町 錦町 池ノ上 登り戸 一本木 妻沼本町・森下 中岡 東岡 若宮・川端	自治会名 会長名
小林 野村 横倉 浅見 関口 能見 一良	片山 山川 入枝 長谷川 山岡 小川 藤井 柿沼 岡田 柳 高尾 長谷川 鈴木 長谷美 青木 中島 稲村 青木 小林 浅見 谷口 田口 鈴木 飛田 戸谷 荻野 野口 森邦夫	義一 昌男 輝夫 安雄 利一 一良

秦	長 井	太 田	
依瀬 大野 弁財 日向 日向 日向 葛和田 荒宿 向野 西島 下宿 中宿 上入	西野西部 西野中部 西野東部 田島 西城台 上須戸ハイツ 上須戸西部 上須戸中部 善ヶ島西部第二 善ヶ島中部 善ヶ島東部 善ヶ島西部 八ッ口 江波台 江波 上根	市ノ坪 北武蔵 江北 道ヶ谷 八木 古江 飯塚 福王寺 前新田 永東 北岡 上平	自治会名 会長名
斉藤 原隆 桜井 筑井 西垣 家泉 今田 井上 嵯峨 中川 瀬間 橋本 根岸 江利川 舞原 正	高木 薄井 郡川 新井 森口 飯村 堀越 須田 清水 尾澤 神田 柴田 須賀 小島 佐藤 真喜男	柴崎 長島 水島 鹿島 小林 深川 石川 鈴木 藤野 根橋 浦部 新島 野口 荻原 尾島	友栄 開敏 武二 一夫 正茂 進雄 光武 文生 英文 安雄 博



大里地区

大 里	
船木台五丁目 船木台三丁目 船木台二丁目 小八林 箕輪 玉作 相上 向谷 津田 沼黒 吉所敷 中曾根 天水 津田新田 屈戸 手島 下恩田 替津田 中恩田 上恩田	自治会名 会長名
桂嶋 加藤 塚本 堀本 岡田 福田 栗原 浅井 矢島 菅間 新井 小池 鈴木 大嶋 山岸 齊藤 山所 茂木 鈴木 長谷川 武田 吉田	健二 雄司 高広 幸一 哲夫 和久 正美 達夫 敏明 治義 好博 幸男 薫作 一夫 嘉雄 茂実 茂栄

江南地区

江 南	
江南中央 江南パークシティ 千代 板井 塩 小江川 野原 須賀広 御正第3 御正第2 御正第1 榎春南 榎春北 下押切 上押切 三本 江南中央南 成沢南 あおば 成沢	自治会名 会長名
千脇 坂井 湯本 飯島 飯島 岡部 杉田 田中 橋本 橋本 舟橋 滝田 馬場 坂田 長谷川 福田 新井 村田 星野 兼杉 畠山 廣澤	憲治 隆功 利夫 照雄 修一 一美 勝彦 竹正 弘 敏男 盛信 秀夫 英文 力夫 和好 幸男 隆志 松男 正康 正憲 晴義

※赤字は地区連合会長

全自治会数 363自治会

平成30年7月10日現在



ぜひ一度、自治会活動に参加
してみませんか？

この広報紙をご覧の自治会未
加入の方も、地域の大切な一
員です。

暮らしやすいするため、自治
会は活動しています。

ごみ集積所がきれいに管理さ
れること、暗い道に防犯灯が
とること、災害時のための
備えなど、普段の地域生活を

自治会に
加入しましょう！

◆奈良自治会連合会◆

上奈良自治会会長 細田 茂

奈良地区は、国道407号線・県道341号線の両側に接しています。各地区内にそれぞれ集落が点在し、周囲は水田や畑の農耕地で構成されています。初夏6月の麦の収穫の頃は、あたり一面麦の匂いが漂い、収穫が終わると瞬く間に田植えが始まり、1ヶ月程で見る景色が緑一色と変わる田園の美しい時と成ります。

奈良自治会連合会は上奈良・中奈良・下奈良・集福睦会・市営中妻団地・県営下奈良団地の6単位自治会で連合会を組織しており、自治会加入1800世帯、人口は約6000人となっています。

地区内の諸団体と連携した行事の開催

奈良地区では、「奈良フェスタ21」と称した秋祭り行事を、奈良小学校校庭を会場に、「奈良おやじの会」を主催に各種団体の協力により開催しています。手打ちうどんやカレー等の屋台が出店し、駄菓子屋や焼きそばなどのテントも30張り以上出店します。会場中央には舞台が設置され、保育園児の鼓笛隊、小学児童「キッズソールン」や奈良中ソールン中学生の和太鼓演奏や箏の演奏が行われます。さらに、公民館活動で練習を重ねているダンスやコーラス、舞踏など発表披露を行っており、今では地区の一大イベントとなっています。



グラウンドゴルフ大会の開催

グラウンドゴルフ愛好者が年々各地で増加傾向にあるなか、奈良自治会連合会ではグラウンドゴルフ大会を開催し、各自治会単位でも開催しています。そのたびに参加者も200名を超え、初心者も上級者も入り乱れての

大会となりますが、日頃より練習グラウンドでプレーしている方が、常に上位に食い込めるようです。賑やかに融和できる楽しいひと時を過ごせる機会となっています。

奈良地域ニュース(地域情報誌)の発行

不定期での発行となりますが、奈良地域ニュースを発行しています。このニュースでは、公私において多大の功績を上げられた表彰や、荣誉ある叙勲に浴された方々をはじめ、子ども会のスポーツ大会、スポレクフェスタデバルでの綱引き大会やグラウンドゴルフ大会での優勝、小中学校などが優秀成果で表彰を受けたことなどの「喜ばしいニュース」を取り上げ、地域住民に広く情報を提供し、地域情報の共有ができるよう作成しています。そのため、自治会連合会自前で取材、制作編集印刷まで担当しながら、発行経費節減を図って全戸に回覧しています。



突発の被災を想定し防災への備えと防災活動を推進

奈良地区では8つの自主防災組織が組織されています。そこに消防分団も加わり、時には小学校・中学校の先生と児童生徒にPTAも参加した訓練として地区総合防災訓練を実施しております。奈良地区では現在防災士の有資格8名が在住し、防災訓練の計画の段階から活動し、炊き出し訓練、避難所開設訓練や防災資機材の組み立て訓練、そして最近では倒壊家屋からの救出サート訓練に

於いても、指導者として積極的に活動しています。

また、今年度は、熊谷市で初となる「地区防災計画策定事業」にも参画を決定し、現在奈良地区防災マップ作成事業を展開中です。今年度中に各家庭全戸配布を行い、もしもの災害に備えることにしています。防災先進地域になるよう、地域各種団体そして企業にも参画を願い、地域を挙げて地区防災計画策定事業に取り組んでいます。

夏には納涼祭の開催

毎年7月後半には、公民館事業の一環として盆踊りの練習会を開催しております。練習には婦人会の有志に指導をお願いし、各地域より大勢の方の参加があります。年一度の盆踊りですので、昨年度の習った曲目でもなかなか思い出すことは難しいようですが、複数回練習を重ねる度に、手足が動くようになり、盆踊り大会や納涼祭の開かれる頃には、すっかり上達が出来るようになります。毎年お盆前後の時期に上奈良・中奈良地区で盆踊り納涼祭を開催しておりますが、開催日時が重ならないように計画されていますので、奈良地区広範囲から踊りに加わって、夏の夜の一時を楽しめる祭りとなっています。

子ども会においても、「夏のお楽しみ会」を盆踊りや納涼祭と同時に開催し、ゲームや抽選などで沢山の景品を手にして大はしゃぎする子どもの姿を見ますと、自治会として支援できることに喜びを感じます。子どもから大人まで家族そろって楽しめる昔ながらの風物詩的事業は、できる限り継続するようこれからも努力するつもりです。



◇佐谷田自治会連合会◇

会長 加藤 嘉宏

佐谷田自治会連合会は、熊谷市の東部中央に位置し、久下・元荒川北側から、国道17号・旧行田街道・星川（忍川）等・東中学校南側までの区域で、北は成田、南は久下、東は太井、西は銀座・曙・万平町に接している地域です。佐谷田東区・西区・南区・北区・戸出・平戸の6つの単位自治会によって構成され、加入世帯は1,816世帯（平成30年5月現在）です。自治会連合会と佐谷田公民館ならびに各種団体等と協力して活動している事業を紹介したいと思います。

青色防犯パトロール活動



自治会連合会による青色防犯パトロールを、平成26年4月より実施しております。青色防犯パトロール講習を受講した自治会長6名で、2名一組の三班編成で輪番制に毎週地域内をパトロールしております。地域住民への犯罪被害を未然に防止することや、子供の犯罪被害を防止することを目的と呼びかけ等を実施しております。

地区防災訓練の実施



自主防災組織が各自治会で結成されたのを契機に、自治会連合会主催の防災訓練を平成26年度より各種団体のご協力のもと、佐谷田小学校体育館を借用して実施しております。平時の訓練により災害に対する心構えや、地域の人々がお互いに協力し「自分たちの地域は、自分たちで守る」を念頭に防災意識の向上や防災行動力を高める訓練になっております。訓練終了後は子供会によるビンゴ大会もあり、盛り上がりました。

佐谷田地区大運動会

（佐谷田公民館主催・各種団体共催）

地域住民の健康増進と親睦と交流を図ることを目的として自治会連合会・各種団体役員の協力と多くの参加者により、佐谷田地区大運動会を佐谷

田小学校校庭で毎年開催しております。今年は35回目になります。

各種競技種目への多数の参加者と、地区対抗競技種目では各地区の強い団結力と熱の入った応援で盛り上がります。また豪華賞品の当たる抽選会等もあり、毎年成功裏に閉会しています。



佐谷田地区敬老会

（佐谷田公民館共催・各種団体共催）

平成29年度の招待者763名を対象に佐谷田地区敬老会を上之荘で開催しました。

高齢化社会となるなか、喜寿・米寿・金婚を迎えられた皆さまに寿状および記念品が贈られました。式典終了後、公民館学習グループ団体による余興などが披露され、大いに楽しんでいただきました。

◇小江川地区紹介◇

小江川自治会長 岡部 一美

小江川自治会は江南地区で熊谷市の南側滑川町と境を接する丘陵地域に位置しています。現在の会員世帯数は384世帯を擁しています。自主防災組織や自主防犯組織を結成し、防災活動・防犯活動にも取り組んでおりますが、今回は小江川地区で実施している桜事業についてご紹介します。

市民協働「熊谷の力」小江川地区
1000本桜事業 本年度達成！

本桜事業は9年前に産声をあげた事業で、平成21年度の「市民協働『熊谷の力』事業」(新しい



手法や発想を用いて市民活動団体と熊谷市が協働して地域の課題を解決する事業)に採択されたものです。本桜事業では、10年間毎年1000本、合計で1000本を目標に桜の苗木(神代曙)を植えてまいりました。

立ち上げた桜

事業委員会はスタート時点から毎年植栽予定区域の地権者との借地無償提供の交渉を開始、目に見えない努力を続けてまいりました。作業は毎年1月最終日曜日から3月第一週日曜日まで



計6回実施します。寒い冬の作業でもあり、時には雪の残る植栽地に毎回数十人の地域住民の方が参加して、伐採、下草刈り、後片付け等整地にご協力いただいたこと、とりわけ桜事業委員会の皆様には、節目の自治会長として本当に有難く感謝申し上げます。荒廃した平地林を整備し、環境美化と里山の再生を実現できたことに加え、地域の皆様のボランティア活動での協働作業によって連帯意識を醸成することができました。さらに、環境整備の結果、不法投棄および犯罪の抑止効果も得られております。

そして今年度、いよいよ桜事業は10年を迎えます。事業開始当初に植栽した桜は直径20cm以上に成長し、毎年華やかに花を咲かせております。今後、熊谷の荒川土手と並ぶ桜の名所となるでしょう。次の10年後が楽しみです。

しかしながら課題もあります。植栽地域の里山を桜の名所として継続的に維持管理するためには、今後も更に地域住民と行政の力が必要です。また、桜事業を紹介するため「紙芝居」も作りましたので、機会あるごとに紹介したいと思います。美しい里山の景観を未来の子供たちに残し、この町に生まれ住んでよかったと思える環境を創造していきたいと念じております。

なお、この事業の過程で天和・元禄期に造立された僧侶の墓塔や庚申塔、供養塔が発見されました。武蔵国の地誌「新編武蔵風土記稿」にここに聖観寺(しょうかんじ)という寺院があったことが記されています。小江川1000本桜事業の一環としてこれを整備し、後世に継承することとしました。



平成30年度熊谷市自治会連合会総会



5月24日(木)、大里生涯学習センター「あすねっと」において、自治会長 176 名の出席のもと、熊谷市自治会連合会総会を開催しました。

総会では、岡部宣明会長が挨拶を述べた後、大原西自治会の高木会長が議長に選出されました。議案は全て承認されました。

議案

- ・平成 29 年度事業報告及び決算報告
- ・役員選出 (案)
- ・平成 30 年度事業計画 (案) 及び予算 (案)



続いて、富岡清市長及び黒澤三千夫市議会副議長からご祝辞をいただき、自治会活動に功績のあった自治会長に対し、感謝状が贈呈されました。(総会議案は市ホームページでご覧いただけます。市ホームページ内で「熊谷市自治会連合会総会」でキーワード検索すると、該当ページが見つかります。)

新任自治会長研修

6月5日(火)、新しく自治会長になられた方を対象に、新任自治会長研修を開催し、64名の方に参加していただきました。

研修では、熊谷市自治会連合会の松永勲副会長を講師として、熊谷市自治会連合会の事業、地元自治会での具体的な活動事例、自治会長として心がけていること等を講演していただきました。参加者からの質問に対しても、これまでの自治会長経験をもとに応答を行いました。また、自治会制度、自治会に関連のある市事業などの説明も行いました。参加者からは、大変参考になった、自治会の役割や市との関係を改めて確認できたとの声が聞かれました。



編集後記

第24号「ひろば」の発行にあたり、各自治会のご活躍について発表、又各地域のご紹介をいただきました。ご寄稿いただきました皆様に感謝申し上げます。各自治会の活動をみると、改めて「継続」の大切さを感じました。奈良自治会連合会の「奈良地域ニュース」や納涼祭の取組、佐谷田自治会連合会の防犯パトロールや防災訓練の取組、小江川自治会の1000本桜事業の取組、どの事業も実施にあたっては大変な苦勞があったことと思いますが、工夫を凝らして継続的に取り組むことで、地域に根付いた活動になっているのだと思います。

今回ご紹介した自治会活動が、各自治会の活動の一助になれば幸いです。全ての自治会がますますのご発展と活動する皆様のご活躍を心より祈念申し上げます。

熊谷市自治会連合会副会長 森田 廣次